

第3話 農作業もやっています…

投稿日:2022年5月24日

ここSergines のCIEP本部はいわばRaluy家のペタンク練習場付きの民宿。10人程が宿泊できるが、そのメンテナンスは全て夫人のアンヌポールAnne Pauleが取り仕切る。

そのアンヌポールが先日訪問先で転倒し足を骨折してしまった。



当然全ての仕事はRaluyさんと息子のコランタンCorentin君に任される。

とても大変そうだ。

そんな窮状を日本人として放ってはおけない。

わたしは手伝いを申し出た。

そこで頼まれた仕事が裏庭にある畑のトマト植えだった。

やったことはないが、教えて貰えばなんとかなる。



”へっぴり腰”とはこのことだ！

おぼつかない仕草で作業を始めたが、見かねたRaluy親子があれこれ指導し手伝いはじめた。
ここのところのフランスは5月とは思えない暑さ。日中は30度を超える。
湿度が低くて過ごしやすいが肉体労働を2時間もすると汗が流れる。



裏庭にある小さな菜園だがきれいにトマトが植えられた。

結局3人で作業して、お礼の言葉は頂いたが、ほんとうに手伝いになったのだろうか？

(追伸)先日書いたペタンク夜話(その1)が好評で、是非続編を書いてほしいというメールを
頂いたが奥さんの骨折でRaluyさんが忙しくなり、なかなか話を聞く機会がない。
しばらくのお待ちを。

